

濁水かわら版

第93号 2020年2月22日

大流行する「不都合な真実」 I 戸締りが甘い国

昨年末、第92号を発行して早や50日が過ぎました。正月から1型糖尿病と仲良く過ごすことを第1に考えた元日の新聞を見て驚嘆。日産事件のゴーン被告が日本脱出!? 次いで1月20日の朝日新聞は、三菱電機が中国からと推測される大規模なサイバー攻撃を受けて気密性の高い防衛・電力・鉄道や政府機関の情報が流出したと伝えた。さらに1月30日には NEC も不正侵入されたニュースが流れる。想定外というより戸締りが甘い!? と感じた。

サイバー攻撃 史上最大の作戦

① 思い出したのが第2次世界大戦から17年後の1962年末に上映された米映画「史上最大の作戦」と、翌63年公開の同「大脱走」。60年安保騒動から64年の東京五輪開催の間の学生時代の回想映画である。

② 図Aは、1944年6月6日未明から夕刻までの「史上最大の作戦」の再現図だ。上陸部隊の将兵の総数は、米英加(カナダ)連合軍17万6000人。イギリス海峡のコタンタン半島からオルヌ川河口まで≒100kmの海岸5か所を戦艦や爆撃機などで急襲した。鉄壁と言われたドイツ軍守備隊は虚を突かれ動揺、80日後の8月25日、連合軍はパリに進出し開放した。史上最大の作戦は、私の眼には現代の大規模なサイバー攻撃を彷彿させた。三菱電機は重要情報の流出を否定していたが、防衛省は20/2/10日、装備品の試作品情報が流出した可能性があると発表した。

ゴーン日本脱出 大脱走

③ 図Bは、映画「大脱走」の主演の1人スティーブ・マックイーン。第2次世界大戦でドイツの捕虜になった連合軍の兵150人が、収容所の地下にトンネルを掘り76人が脱走する。マックイーンが、敵のオートバイを奪い逃走する姿は私を刺激した。64年に新聞社に入社し千葉支局に配属されると、早速125ccの中古バイクを購入。休みの日に外房海岸を往復した帰りに白バイに止められた。察廻りで顔

ボケ防止を兼ねて 中安 宏規

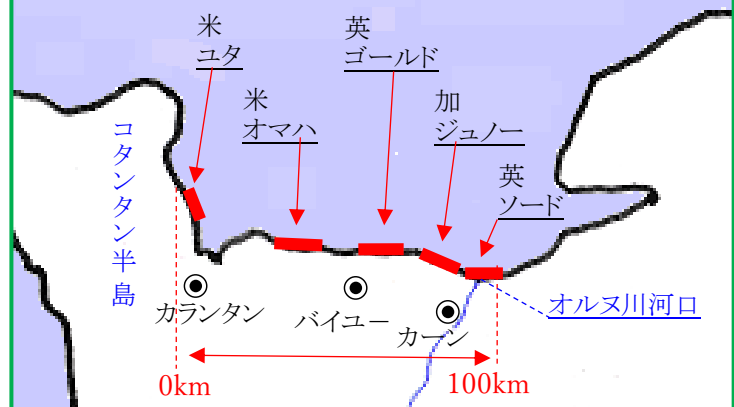
史上最大の作戦 1944年6月6日



連合軍兵力(第1波攻撃)

上陸部隊将兵
米英加 17万6000人戦艦など艦艇
5300隻戦闘機・爆撃機など航空機
1万4000機

図A



出典: ①連合軍兵力は小学館「日本大百科全書」より ②連合軍命名の5カ所の攻撃海岸(ユタ・ビーチなど)の位置・攻撃国は、アントニー・ビーヴァー著「ノルマンディー上陸作戦1944」(上)(下)(白水社 翻訳)を基に作成した。

図B



マックイーン(1930-80年)の写真はネットで見つけ拝借。彼は不幸な少年時代と海兵隊を経てテレビ俳優として注目され「大脱走」でスターになる。自らプロダクションを立ち上げ、観客がコックピットで体験するようなカ

ーレースの「栄光のル・マン」を制作。日本でヒットした。80年、アスベストによる肺がんで旅立った。

ゴーン～ 彼は煩惱を死守した !?

見知りの隊員は「なんだ、君か。気をつけろよ」と放免。以後、自転車もノロノロ運転だ。横道にそれたが、ゴーン被告は、東京地検特捜部に羽田空港で会社法違反などの容疑を基に逮捕された。拘留108日。その間、罪状を否認し続けたと伝わる。その男が昨年12/31日(日本時間)「私はレバノンにいる」と声明を出し、世界中を驚かせた。大晦日から元旦にかけての除夜の鐘は108の煩惱を捨てるために撞く。12/29日、米国人の助けを借りて →次頁へ

捕虜の発想と思えば

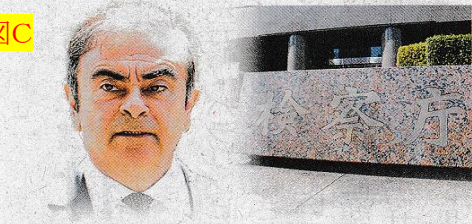
前頁から) 大型の箱に隠れ、関西空港からプライベート機で脱出した彼は、逆に**煩惱＝欲望を死守**したように見えた。私はこの演出に「やるじゃないか」と思い、元日に投函した年賀状に「日本は恥をさらした」と一筆加えた。1月8日、レバノンで会見した彼は、日本の司法制度の不満を世界へ向け延々述べた。日本メディアの会見出席要望をテレビ東京・日経系に絞り、他を排除した。日本の「横並び」メディアへの不満を突きつけたようだ。

④ 図Cは、ゴーン被告脱出1か月後の新聞記事だ。多くの方が、ゴーン脱出の推移をご存知と思われるので、参考として掲載した。ゴーン氏と日本の司法・検察の主張のどちらが正しいか？人さまざまだと思うが、彼自身が「日本の捕虜」と考えれば、映画「大脱走」級の発想を実行したとしてもおかしくない。「逃げるとすればレバノン」と悔やんだ関係者の記事が載っていたが、後の祭りで戸締りの甘さをさらけ出したようなものだ。

⑤ 日本の法務・検察の反論も、2009年に大阪地検特捜部が厚労省局長だった村木厚子さんを虚偽公文書容疑で逮捕、5か月も拘留した事件が特捜部のでっち上げ冤罪(保釈の日に朝日新聞が報道)であったことを考えれば、素直に受け取ることはできない。

ゴーン前会長と法務・検察の主張

図C



ゴーン前会長

法務・検察

1日8時間以上、弁護士なしで取り調べを受けた。人権と尊厳を損なわれた

取り調べ時間

調べは平均4時間弱、最長約6時間。勾留130日のうち120回以上、弁護人と接見

「自白すれば終わる。しなければ家族も追及される」と繰り返し言われた

自白の強要

取り調べは全て録音・録画されていた。筋書きの押しつけや自白の強要はなかった

日本の裁判は99.4%が有罪。弁護士も公平な裁判が受けられると言わなかった

有罪率

日本では有罪が得られる高度の見込みのある場合に限りて起訴する運用が定着している

愛する妻は私の支えなのに、会える可能性が全く見えなかった

妻との接触制限

前会長の妻は前会長の意を受けて事件関係者と接触し、証拠隠滅を行っていた

毎日新聞20/2/2日より

Ⅱ 香港発の真実 香港の不自由展から

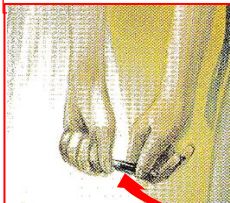
⑤ 新年1月27日から2月15日まで、東京・銀座1丁目のギャラリーQで上記の「香港の不自由展 FREE HONG KONG DEMOCRACY NOW ARTWORK EXHBTION」が開かれた。香港政府に対する激しい市民抵抗の姿である。

図Dは、その中の作品の1つだ。人間の鎖の若い男女の手元を見て欲しい。ペンを握っている。左にその部分を拡大した。タイトルは「筆友」。作者は塵阿力。中国当局の追及をさけた偽名である。こうした画像作品13点・音楽9点・ビデオ12点のほか壊れたヘルメットなど。

⑥ 画廊を主宰する上田雄三さんに開催の経緯を聞くと…

画廊は日本・韓国・中国の新進気鋭の作家を紹介してきた。そこへ香港で昨年、半年以上続いた「逃亡犯条例」改正案の激しい反対デモの真実を伝えたいという話が飛び込んできた。上田さんはそれを引き受けた。図Dや次頁の図Eの画像は電

Title
筆友
Stand Pen in Hand
Year. 2019
Artist 塵阿力



図D



送で受け日本で印刷し再現した。デモ隊のヘルメットなど展示物は政府の弾圧で壊されたものを拾い、日本に運んだ。ビデオの入手方法などの説明は明確でないが電送されたように推測している。

香港の伝わらない真実

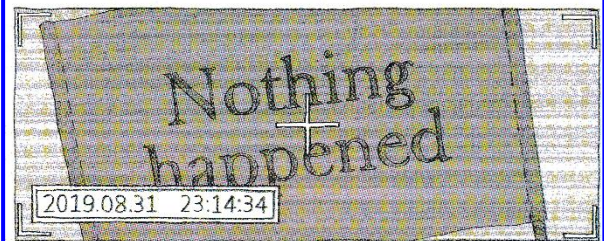
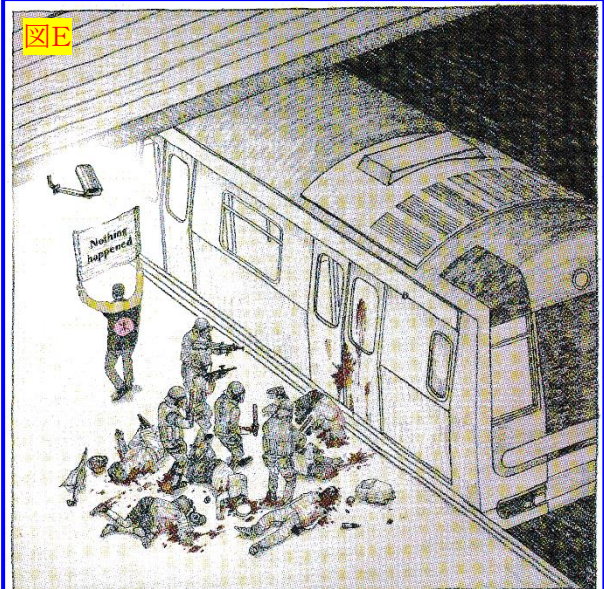
⑦ 図Eは、19年8月31日深夜の出来事は「ハプニングでない真実」という意味と考えた。当時私は、1型糖尿病の疑いで対応に追われていたが、この絵葉書を画廊で購入しネットで検索した。香港報道では「同日、警官隊がデモ隊を地下鉄の太子駅に追い詰め、電車の乗客を警棒で殴り、ホームからは催涙スプレーを噴射。「警察はヤクザだ」の怒号が飛びかい、デモ隊は市民3人が死亡したと主張した。警察・消防・香港铁路有限公司(地下鉄)は共同会見で「死者はいなかった」と説明。地下鉄の監視カメラの公開映像では市民鎮圧の映像は含まれなかったという。…立法会(議会)の女性議員が通信記録を入手したが、その後のことは不明だ。

⑧ AFPやCNNによれば、香港の激しいデモ騒動のきっかけは、2018年2月に台湾で起きた殺人事件という。香港人の男が、妊娠中の交際相手を台湾旅行中に殺害して香港に逃げ帰った。香港と台湾の間には身柄引き渡しの協定が無く、台湾警察は容疑者を逮捕出来なかった。そこで香港政府は、犯罪容疑者の身柄を、中国本土を含め中国全域への引き渡しを可能にする「逃亡犯条例」改正案を議会提出。これが激しい市民の反発を呼び、大規模な抗議デモに発展した。

(⑦⑧の日本の報道を見かけない。ご存知の方はご教示を)

⑨ 香港では19年11月24日、区議会(地方議会)選挙が行われた。「逃亡犯条例」改正に反対していた民主派が定数452議席の85%に当たる385議席を獲得。建制派(親中派)は、292議席から59議席に激減した。投票率は71.2%。18歳以上の選挙登録者(注:日本と異なり自ら登録する)413万人中294万人が投票し投票率・投票者数とも過去最高となった。香港政府のトップ林鄭月娥長官は「政府は市民の意見に耳を傾け真摯に反省する」の声明を発表した。

(⑨はJETROの「ビジネス短信」を引用)



Ⅲ 新型肺炎は… 正月前に日本に侵入!!

中国湖北省・武漢で発生した新型コロナウイルスが日本に上陸した。感染経路不明の感染が報道されるが、ウイルスはゴーン被告が日本脱出を考えた頃から年末のように感じる。また大型クルーズ船の乗客約3700人を船に閉じ込めた日本政府の対策に世界の批判が集まる。外国人救出の各国の救援機が羽田到来した。次回「不都合な真実」は、この新型肺炎を考える。

3Pal <3> ①右の表は私の血糖値(HgA1c:ヘモグロビン エイ ワンシー)の推移です。NGSPは国際基準で、日本は2013年から採用した。②正常値は5.9以下で6-6.4は糖尿病予備軍。6.5以上が糖尿病。最近の数値は予備軍まで“奇跡の改善”です。③日付の赤字は体重の激減と頻尿に気づき家から100mほどの開業医の診察を受けた月日。開業医は採血の分析を検査会社に外注しており、結果の判明を聞きに行く必要があります。④胃の内視鏡検査日に合わせ聞きに行き、血糖値を下

私のHbA1c 推移	
月日	NGSP
7/26	13.5
8/05	胃検/投薬
8/19	12.7
8/21	1型指摘
9/12	10.1
	インスリン開始
9/26	自己測定
11/14	7.2
12/11	7.0
12/12	インスリン変更
1/20	6.4
2/20	6.4

げる14日分の薬を受ける。その反省から薬の切れた19日の検査値は2日後の21日に確認し「1型の疑い」を指摘され、都立病院への紹介状を受けた。直ちに☎するも予約が取れたのは3週間後の9月12日。同日の検査で1型の宣告を受ける。原則入院も「かわらばん51号」で触れたように、自宅で夕食前17時の自己インスリン注射を認めてくれた。⑤2週間後の9月26日、簡易血糖測定器を病院が貸与。目覚めと就寝前の2回、血糖値を計る生活が始まる。だが肝臓異変を告げる数値が急上昇した。12月12日、主治医のインスリン変更提案を承諾、以後、平常値近くに戻る。大晦日はゴ〜ンと鳴る前に天ぷらそばを食べ煩惱を捨てるべく寝床に入る。 続く